

令和5年度城端・氷見線活性化推進協議会総会 議事要旨

日 時：令和5年7月4日（火）13：55～14：25

場 所：高岡市役所8階 802会議室

委 員：34名中29名出席

議事要旨：以下のとおり

【議案第1号】令和4年度事業報告及び収支決算報告

事務局説明

監査報告

⇒承認

【議案第2号】規約の一部改正について

事務局説明

⇒承認

【議案第3号】令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)

事務局説明

⇒承認

【事業報告】

事務局説明

・「城端線・氷見線沿線地域公共交通計画」進捗報告 資料1、2

【委員からのご意見等】

- ・令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、LRT化検討会の議論を踏まえたうえで県の方針が新しく決まり、城端線・氷見線の活性化や幹としての城端線・氷見線の活性化、枝としてのフィーダー交通の活性化、葉っぱとしてのデマンド交通等の積極的展開によって、城端線・氷見線を活性化するという方針に基づいて、今年度より本格的に検討が始まると認識している。
- ・利便性の向上としてパターンダイヤを実施することになれば、新しい車両によって30分間隔で走るようなことをイメージしていると思うが、例えば城端線で上りと下りが交差する駅が今の数でいいのかなど、検討する項目は山ほどある。また、タクトダイヤの場合には、高岡駅であいの風とやま鉄道とどう接続すれば氷見線・城端線が活性化するのか等を含めて、深い検討と、駅から各地域への二次交通の活性化による城端線・氷見線の利用向上に繋げる必要があるのではないか。

- ・沿線各市が真剣に取り組むための施策を、この協議会で何ができるのか積極的に考えていく必要がある。

⇒事務局回答

- ・昨年度、城端線・氷見線 LRT 化検討会の中で新たな方向性が示され、場を変えて議論が進められることとなっている。城端・氷見線活性化推進協議会としては、現行の城端・氷見線の活性化や利便性の向上を進めていきたいと考えている。
- ・沿線各市の公共交通に関する計画についても、練り直しの年度であり、砺波市ではフィーダー系の交通が進められている。また、高岡市においても、駅を基点とした公共交通網と市民協働型の交通システムの展開について独自に検討しているところである。それぞれが連携することで、城端・氷見線沿線の活性化に繋がればと思い、民間の皆さんとの協力関係のもとで進めていきたいと考えている。

以上

令和5年度 城端・氷見線活性化推進協議会 委員名簿

令和5年7月4日

所属	役職	氏名	備考
高岡市長	会長	角田 悠紀	
氷見市長	副会長	林 正之	
砺波市長	副会長	夏野 修	
南砺市長	副会長	田中 幹夫	
南砺副市長	監事	齊藤 宗人	
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長		中村 幸春	
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所長		佐藤 保之	(欠席)
富山県交通政策局長		田中 達也	
富山県土木部長		市井 昌彦	道路課課長補佐 江上 敦士
高岡警察署交通課長		九澤 昌人	
氷見警察署地域交通課長		石丸 竜也	
砺波警察署地域交通課長		高長 大輔	
南砺警察署地域交通課長		飯沼 賢	課長代理 岩永 潤
射水警察署交通課長		前田 文彦	(欠席)
西日本旅客鉄道株式会社常務理事金沢支社長		漆原 健	
あいの風とやま鉄道株式会社代表取締役社長		日吉 敏幸	
万葉線株式会社代表取締役社長		中村 正治	代表取締役専務 楠 達男
加越能バス株式会社代表取締役社長		松井 康治	
西日本ジェイアールバス株式会社北陸支店長		大久保 範繁	(欠席)
高岡商工会議所会頭		塩谷 雄一	専務理事 西田 隆文
氷見商工会議所会頭		寺下 利宏	専務理事 本田 孝則
砺波商工会議所会頭		米原 嘉孝	専務理事 小幡 和彦
高岡市商工会会長		上田 久之	(欠席)
南砺市商工会会長		川合 声一	
公益社団法人 高岡市観光協会会長		塩谷 雄一	専務理事 原野 豊文
一般社団法人 氷見市観光協会代表理事会長		松原 勝久	
一般社団法人 砺波市観光協会会長		五島 辰夫	専務理事 大浦 信雄
一般社団法人 南砺市観光協会会長		川合 声一	
高岡市連合自治会会長		角玄 富雄	
氷見市自治振興委員連合会会長		大嶋 充	
砺波市地区自治振興会協議会会長		堀田 隆	
南砺市地域づくり協議会連合会会長		松本 久介	
JR越中中川駅利用促進協議会会長		利田 昭彦	
JR戸出駅利用促進協議会会長		松嶋 浩二	(欠席)

(34名)